

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	若葉保育園
日時	令和8年1月22日

1. 活動テーマ

<テーマ>

葉っぱも凍るのかな？

<テーマ設定理由>

冬の朝、戸外遊びの際に畑の大根の葉が白くなっていることに子どもたちが気づき、「葉っぱが冷たい」「白くなってる」と不思議そうに触れたり、友だちと見せ合ったりする姿が見られた。身近な自然の変化に興味をもった子どもたちの気づきを大切に、「葉っぱも凍るのかな？」という疑問から、氷を使った探究活動へとつなげた。

2. 活動スケジュール

1月22日、園庭で冬の自然に触れた後、葉っぱ入りの氷を観察した。氷の冷たさや硬さ、中の葉っぱに興味をもち、溶けていく変化に気づきながら、感じたことを友だちと共有した。

3. 活動の為に準備した素材や道具、環境設定

- ・落ち葉や園内で集めた葉っぱ
- ・水、製氷皿、透明容器
- ・前日に仕込んだ「葉っぱ入りの氷」
- ・子どもが自由に見て触れられるテーブル配置

室内でも落ち着いて観察できるよう、自然光の入る場所に環境を整えた。

<活動内容>

前日に水と葉っぱを容器に入れて凍らせ、当日は完成した氷を子どもたちに見せる。

「かたい!」「つめたい!」「葉っぱが中に入ってる」と、手に取って触れながら次々に声が上がった。氷を机に置いて眺めたり、溶けていく様子をじっと見つめたりしながら、友だち同士で気づいたことを伝え合う姿が見られた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>



・氷を見て「葉っぱ、閉じ込められてるね」「氷のおうちみたい」と、見立てる。

・「ここから出られないね」と、氷の中の葉っぱに気持ちを重ねて話す。

・手に持ちながら「つめたい!」と驚き、すぐに持ち替える姿が見られた。

・「だんだん小さくなってきた」と、形の変化に気づく。

・「お水になったよ」「なくなっちゃったね」と、溶けた後の様子を言葉にする。

・氷の上にたまった水を指さし、「これ、さっきまで氷だったね」と話す。

・氷が小さくなると「ちいさくなったね」と、友だちと顔を見合わせる。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

葉っぱと氷という身近な素材を使ったことで、3歳児でも無理なく活動に入り、「つめたい」「葉っぱが入ってる」と、見て触れて感じたことを素直に表現する姿が見られました。氷の中の葉っぱを見て「閉じ込められてるね」「氷のおうちみたい」と見立てて話す姿から、子どもたちが自分なりのイメージをもって関わっていることが感じられました。

また、時間の経過とともに氷が小さくなり水に変わっていく様子に気づき、「だんだん小さくなった」「お水になったよ」と変化を言葉にする子もいました。実際に目で見て確かめる経験を通して、「凍る」「溶ける」という自然の変化に親しむことができたと感じます。友だちの発見に共感したり、自分の氷と比べたりする中で自然とやりとりが生まれ、驚きや不思議さを共有する姿が見られました。今後も季節の自然を取り入れながら、子どもの「なぜ?」を大切に、気づきや探究につながる経験を積み重ねていきたいです。